

東京都中央区日本橋浜町三丁目 21 番 1 号  
株 式 会 社 建 設 技 術 研 究 所  
代表取締役社長執行役員 西 村 達 也  
(コード番号 9621 東証プライム)  
問合先 取締役常務執行役員管理本部長 松岡利一  
電話 03-3668-4125

株式会社建設技術研究所  
第 64 期(2026 年) 第 2 四半期決算説明会 書き起こし

説明会開催日時：2026 年 8 月 20 日（木）14:00～14:40

代表取締役社長執行役員 西村達也（以下「西村」）：

西村：

本日は、第 2 四半期決算報告、期末予想、中期経営計画 2027 の進捗状況と期末に向けた今後の取組みの順にご説明いたします。

## 第2四半期実績

- 受注高は、前年同期並みで順調
- 売上高は、前年同期比8.3%増で好調
- 営業利益は、前年同期比10.7%増で好調

## 通期業績見通し

- 期首計画どおり、増収増益の見通し

## 株主還元 ※2026年7月30日公表

- 配当金は、株主への利益還元の一層の充実を目的に、当初予想から**32円増配し110円に（予想配当性向42.7%）**
- 成長投資の進捗や資本効率等を総合的に勘案し、**30億円の自己株式の取得実施**  
（取得期間：2026年8月14日～2027年4月30日）

西村：

第2四半期のポイントとなります。

受注高は、前年同期並みで順調、

売上高は、前年同期比 8.3%増で好調、

営業利益は、10.7%増と好調に推移しました。

通期につきましては、期首計画どおり、増収増益を見込んでおります。

株主還元につきましては、7月30日に公表しましたとおり、

配当金は、株主への利益還元の一層の充実を目的に、32円増配し110円の予想に、

また、成長投資の進捗や資本効率等を総合的に勘案し、30億円を上限とする自己株式の取得を実施いたします。

## 第64期 第2四半期決算ハイライト（連結）



|                                                                |                                                                |                                                                |                                                                                |
|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| <b>受注高</b><br><b>61,053</b> 百万円<br>前年同期 60,917百万円<br>増減率 +0.2% | <b>売上高</b><br><b>55,003</b> 百万円<br>前年同期 50,794百万円<br>増減率 +8.3% | <b>営業利益</b><br><b>6,617</b> 百万円<br>前年同期 5,976百万円<br>増減率 +10.7% | <b>親会社株主に帰属する<br/>中間純利益</b><br><b>4,427</b> 百万円<br>前年同期 3,779百万円<br>増減率 +17.1% |
|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|

**受注高** 一部子会社で当初想定を下回るところがあるものの、全体では前期並みに推移

**売上高** 前期好調だった受注を背景に、業務の順調な進捗により前年同期を上回る

**営業利益** 上半期を通じて原価率の改善が進み、前年同期を上回る利益水準を確保するとともに、通期計画に対しても順調に進捗

西村：

こちらは連結の第2四半期決算ハイライトです。

受注高は、610 億 53 百万円で前年同期比 0.2%増、

売上高は、550 億 3 百万円で 8.3%増となりました。

営業利益は、66 億 17 百万円で 10.7%増、

受注高は、一部子会社で当初想定を下回るところがあるものの、全体では前期並みに推移しています。

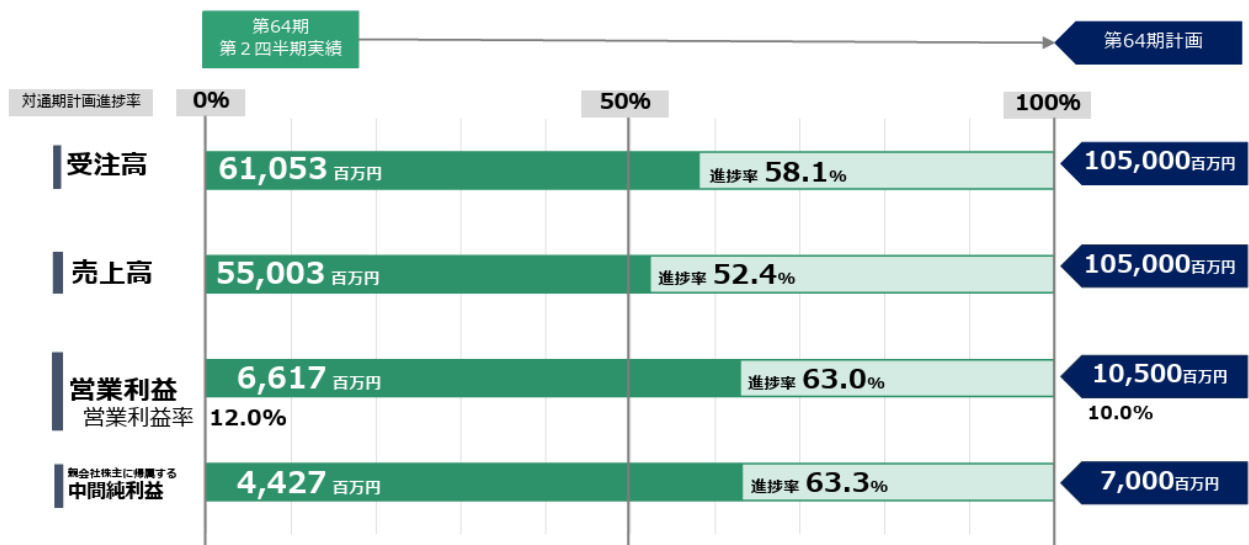
売上高は、前期好調だった受注を背景に、業務の順調な進捗により前年同期を上回りました。

また、営業利益は、上半期を通じて原価率の改善が進み、前年同期を上回る利益水準を確保するとともに、通期計画に対しても順調に進捗しています。

## 第64期 第2四半期決算ハイライト（対計画進捗率）



受注高、売上高、各利益ともに通期計画に対し順調に進捗



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

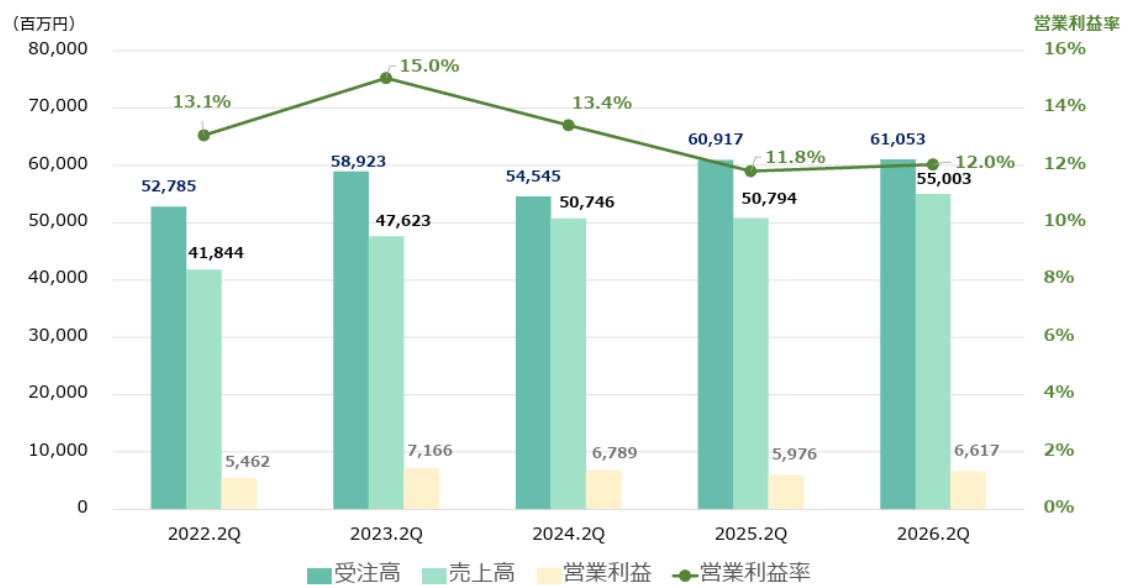
西村：

次に、通期計画に対する進捗です。

受注高は 58.1%、売上高は 52.4%、営業利益は 63.0%、親会社株主に帰属する中間純利益は 63.3%となりました。

(参考) 第2四半期の受注高・売上高・営業利益・営業利益率推移 (連結)

受注高、売上高、営業利益、営業利益率のいずれも前年同期を上回る



Copyright © 2028 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

西村：

こちらは第2四半期の受注高、売上高、営業利益、営業利益率の推移です。

いずれの数値も前年同期を上回っております。

# 第64期 第2四半期決算 損益計算書概要（連結）



（百万円）

| 項 目                 | 第63期<br>(2025年)<br>2Q | 第64期（2026年）2Q |        |        | 第64期（2026年）計画 |        |
|---------------------|-----------------------|---------------|--------|--------|---------------|--------|
|                     |                       |               | 増減額    | 前年同期比  |               | 対計画進捗率 |
| 受注高                 | 60,917                | <b>61,053</b> | +135   | +0.2%  | 105,000       | 58.1%  |
| 売上高                 | 50,794                | <b>55,003</b> | +4,208 | +8.3%  | 105,000       | 52.4%  |
| 営業利益                | 5,976                 | <b>6,617</b>  | +640   | +10.7% | 10,500        | 63.0%  |
| 営業利益率               | 11.8%                 | <b>12.0%</b>  | -      | +0.3pt | 10.0%         | -      |
| 経常利益                | 6,034                 | <b>6,696</b>  | +661   | +11.0% | 10,500        | 63.8%  |
| 親会社株主に帰属する<br>中間純利益 | 3,779                 | <b>4,427</b>  | +647   | +17.1% | 7,000         | 63.3%  |

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

西村：

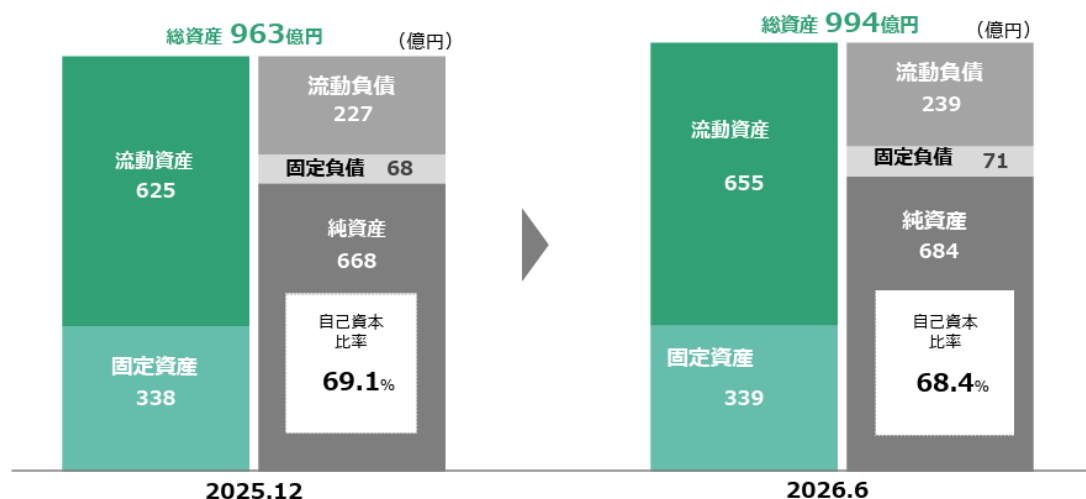
こちらは連結損益計算書の概要となります。

先ほどからのご説明のとおり、受注高、売上高、営業利益、営業利益率のすべてが前年同期を上回りました。

## 第64期 第2四半期貸借対照表（連結）



- 総資産は、現金及び預金の増加(+167億円)等により、31億円増加
- 純資産は、利益剰余金増(+23億円)等により15億円増加
- 自己資本比率は、0.7ポイント減少し68.4%



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

8

西村：

こちらは連結の貸借対照表となります。

2026年6月末の総資産は994億円となり、昨年2025年12月末から31億円増加しました。

主な要因は現金及び預金の167億円増加などによります。

純資産は利益剰余金の23億円増加などにより15億円増加しました。

自己資本比率は0.7ポイント低下し、68.4%となっています。

## 第64期 第2四半期決算 セグメント情報：国内建設コンサルティング事業



- 受注高は、国交省からの受注好調もあり、前年同期比を上回り順調に推移
- 売上高・営業利益は、前期の受注好調を背景として順調に推移

(百万円)

| 項 目   | 第63期<br>(2025年)<br>2Q | 第64期 (2026年) 2Q |        |        | 第64期 (2026年) 計画 |        |
|-------|-----------------------|-----------------|--------|--------|-----------------|--------|
|       |                       |                 | 増減額    | 前年同期比  |                 | 対計画進捗率 |
| 受注高   | 41,825                | 43,868          | +2,042 | +4.9%  | 72,000          | 60.9%  |
| 売上高   | 35,826                | 37,726          | +1,899 | +5.3%  | 72,000          | 52.4%  |
| 営業利益  | 5,937                 | 6,299           | +362   | +6.1%  | 9,800           | 64.3%  |
| 営業利益率 | 16.6%                 | 16.7%           | -      | +0.1pt | 13.6%           | -      |

西村：

次にセグメント別にご説明いたします。まずは国内建設コンサルティング事業についてです。

受注高は、438 億 68 百万円で前年同期比 4.9%増、

売上高は、377 億 26 百万円で 5.3%増、

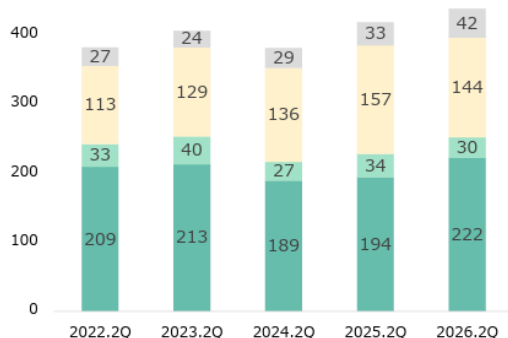
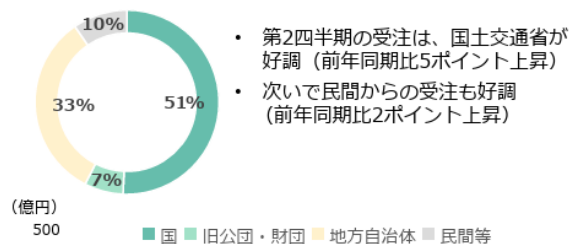
営業利益は、62 億 99 百万円で 6.1%増となりました。

国土交通省からの受注が好調で、売上高・営業利益も前期の受注好調を背景に順調に推移しています。

## 国内建設コンサルティング事業 受注高の状況

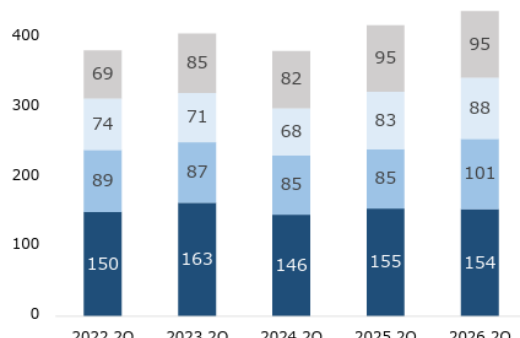
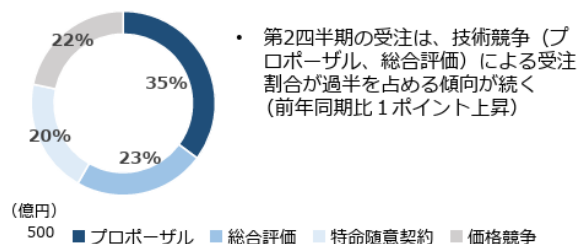


### ■発注者別受注高



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

### ■契約方式別受注高



10

西村：

こちらは国内建設コンサルティング事業の受注状況となります。

左のグラフは、発注者別の受注高を示しております。

国土交通省を中心とする国からの受注が好調で、構成比は前年同期から5ポイント上昇しました。

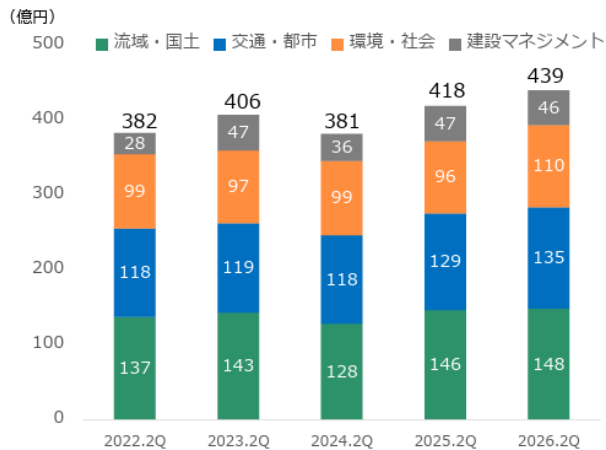
民間等も前年同期から2ポイント上昇しています。

右の契約方式別の受注高では、プロポーザルと総合評価を合わせた技術競争による受注が過半を占める傾向が続いており、前年同期から1ポイント上昇しています。

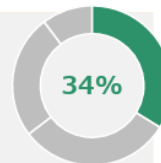
## 国内建設コンサルティング事業 受注高の状況

### ■事業部門別受注高

- ・ 流域・国土、交通・都市事業部門は前年同期比を上回る
- ・ 環境・社会事業部門は前年同期比15%増で好調
- ・ 成長分野として位置づけている建設マネジメント事業部門はほぼ前期並み



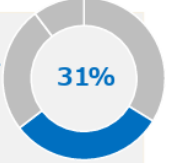
#### 流域・国土 事業部門



河川・海岸/ダム/砂防/  
上下水道/機電設備

受注高 14,779百万円  
前年同期比 +1.2%

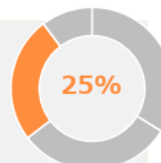
#### 交通・都市 事業部門



道路・交通/都市・建築

受注高 13,510百万円  
前年同期比 +4.2%

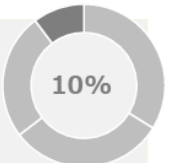
#### 環境・社会 事業部門



情報・電気/防災/環境/  
資源循環・エネルギー/地質

受注高 11,021百万円  
前年同期比 +15.1%

#### 建設 マネジメント 事業部門



公共調達支援/CM・施工管理

受注高 4,556百万円  
前年同期比 △2.5%

西村：

こちらは、事業部門別の受注高の状況です。

流域・国土事業部門は、147 億 79 百万円、

交通・都市事業部門は、135 億 10 百万円、

環境・社会事業部門は、110 億 21 百万円と好調です。

また、成長分野に位置づけている建設マネジメント事業部門は 45 億 56 百万円で、ほぼ前期並みとなっています。

## 国内建設コンサルティング事業 トピックス

よどがわおおぜきこうもん

### 淀川大堰閘門事業

国内最大級事業を設計から完成まで導いた総合プロジェクトマネジメント

#### プロジェクト概要

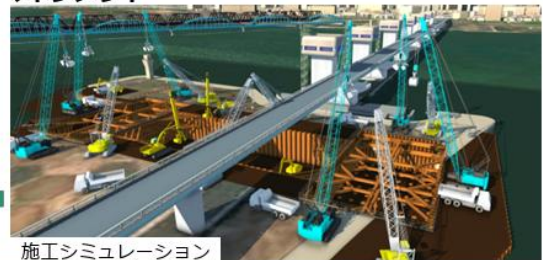
- ・ 淀川で途絶えていた舟運を再生する国家プロジェクト
- ・ 国内最大級の閘室を有する閘門を、大阪・関西万博前の供用開始という厳しい条件のもと整備
- ・ 令和7年度土木学会賞技術賞、CM選奨2026（日本コンストラクションマネジメント協会）を受賞

#### 当社の役割

- ✓ 調査・計画・水理模型実験
- ✓ 土木・建築・機械電気設備設計
- ✓ 施工計画
- ✓ CM

#### 特長

- ・ 事業全体のメインコンサル
- ・ BIM/CIM等のDX活用
- ・ 施工時のCM（事業監理）により、万博時の供用を実現



施工シミュレーション



淀川大堰閘門完成写真 全景

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

西村：

ここで、国内建設コンサルティング事業のトピックスをご紹介します。

ひとつめは、淀川大堰閘門（よどがわおおぜきこうもん）事業です。

淀川で途絶えていた舟運（しゅううん）を再生する国家プロジェクトで、

国内最大級の閘室（こうしつ）を有する閘門を大阪・関西万博前の供用開始という厳しい条件のもとで整備しました。

当社は調査・計画から各種設計、施工計画、CM まで幅広く担い、事業全体のメインコンサルとしてBIM/CIM 等の DX も活用しました。

本事業は令和7年度土木学会賞技術賞とCM選奨2026を受賞しています。

## 新東名高速道路「新皆瀬川橋」

単一構造物ではなく周辺インフラ全体を最適化、当社の総合設計力を示す案件

### プロジェクトの概要

- ・ 新東名高速道路の皆瀬川を渡る橋梁プロジェクト
- ・ 急峻な山岳地帯に建設された大規模な橋梁
- ・ 土石流等自然災害リスクへの対応が求められる事業
- ・ 令和7年度土木学会田中賞（作品部門）を受賞

### 当社の役割

- ✓ 橋梁の設計
- ✓ 道路・擁壁等の設計
- ✓ 砂防施設の設計
- ✓ 仮設道路・施工計画の検討

### 特長

- ・ 砂防指定区域の厳しい条件下で、総合コンサルタントとして橋梁・道路・砂防を一体で設計
- ・ 土石流リスクや施工上の課題を踏まえ、構造計画を最適化
- ・ 関連する設計・調査業務を横断的に調整し、円滑な事業推進を実現



新東名高速道路「新皆瀬川橋」

西村：

続いて、新東名高速道路の新皆瀬川橋です。

急峻な山岳地帯で皆瀬川を渡る大規模橋梁で、土石流などの自然災害リスクへの対応が求められる事業です。

当社は橋梁だけでなく、道路・擁壁、砂防施設、仮設道路や施工計画まで一体で検討し、周辺インフラ全体を最適化しました。

関連する設計・調査業務を横断的に調整し、円滑な事業推進を実現した案件で、令和7年度土木学会田中賞を受賞しています。

## 双葉町駅東地区公設商業施設整備事業

福島復興を支えるまちづくりコンサルティング

### プロジェクト概要

- ・ 福島第一原発事故後の復興を進める双葉町で、住民帰還や地域コミュニティ再生を支える駅前商業施設を整備
- ・ 地域の新たな交流拠点として令和7年度全建賞を受賞

### 当社の役割

- ✓ 基本構想策定、基本計画立案
- ✓ 商業施設基本・実施設計（土木設計部分）
- ✓ 工事監理、発注者支援

### 特長

- ・ 施設の構想から設計、工事監理までを一貫支援
- ・ 将来のまちづくりを見据えた大屋根ひろば等が駅前のにぎわい創出や本格的な復興スタートのシンボルとなった点が評価された



大屋根の軒下ひろばと双葉駅

西村：

こちらは、双葉町駅東地区公設商業施設整備事業です。

福島第一原発事故後の復興を進める双葉町で、住民帰還や地域コミュニティの再生を支える駅前商業施設を整備しました。

当社は基本構想・基本計画から土木設計、工事監理、発注者支援まで一貫して支援しています。

大屋根ひろばなどが駅前のにぎわい創出と本格的な復興スタートのシンボルとなった点が評価され、令和7年度全建賞を受賞しました。

## 第64期 第2四半期決算 セグメント情報：海外建設コンサルティング事業



- 受注高は、大型案件の受注があった前年同期を下回るが、当初想定に対し堅調に推移
- 売上高は、前年同期及び当初想定を上回り順調に推移
- 営業利益は、Watermanが牽引し、前年同期を大幅に上回り、当初想定に対しても順調に推移

(百万円)

| 項 目             | 第63期<br>(2025年)<br>2Q | 第64期 (2026年) 2Q |        |         | 第64期 (2026年) 計画 |        |
|-----------------|-----------------------|-----------------|--------|---------|-----------------|--------|
|                 |                       |                 | 増減額    | 前年同期比   |                 | 対計画進捗率 |
| 受注高             | 19,092                | 17,185          | ▲1,907 | ▲10.0%  | 33,000          | 52.1%  |
| 売上高             | 14,967                | 17,277          | +2,309 | +15.4%  | 33,000          | 52.4%  |
| のれん償却前<br>営業利益  | 209                   | 506             | +296   | +141.3% | -               | -      |
| のれん償却前<br>営業利益率 | 1.4%                  | 2.9%            | -      | +1.5pt  | -               | -      |
| 営業利益            | 41                    | 320             | +278   | +672.9% | 700             | 45.8%  |
| 営業利益率           | 0.3%                  | 1.9%            | -      | +1.6pt  | 2.1%            | -      |

※受注高には、海外子会社の期末受注残高を為替評価した増減額を含んでおります。

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

西村：

それでは次に、海外建設コンサルティング事業についてご説明いたします。

受注高は、171 億 85 百万円で前年同期比 10.0%減となりましたが、これは大型案件の受注があった前年同期との比較であり、当初想定に対しては堅調に推移しています。

売上高は、172 億 77 百万円で 15.4%増、営業利益は 3 億 20 百万円で大幅増となりました。

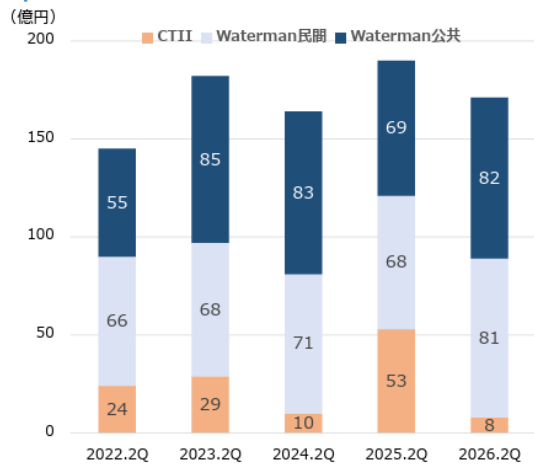
Waterman が牽引し、売上高・営業利益とも順調に推移しています。

## 海外建設コンサルティング事業 受注高の状況



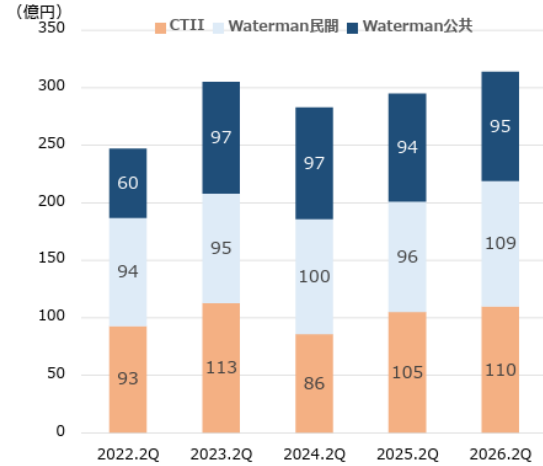
- 建設技研インターナショナルは、発注件数の減少や営業案件の期ずれにより苦戦するも、受注残高は前期並みを確保
- Watermanは、イギリスにおけるインフレ・金利がひと段落し、政権交代により遅れていた公共事業関係費の執行が進捗し始め好調

### 受注高推移



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

### 受注残高推移



16

西村：

こちらは、海外建設コンサルティング事業の受注高推移と受注残高推移を示しています。  
建設技研インターナショナルは、発注件数の減少や営業案件の期ずれにより苦戦していますが、受注残高は前期並みを確保しています。  
また Waterman は、イギリスでインフレや金利がひと段落し、政権交代により遅れていた公共事業関係費の執行が進み始めたことから、好調に推移しています。

### マダガスカル首都圏の交通インフラ整備を支援

#### プロジェクト概要

- ・ マダガスカル首都アンタナナリボの交通渋滞緩和を目的とした中環状道路整備計画
- ・ JICAによる円借款供与の検討に向けたフィージビリティ調査を実施中

#### CTIIの強み

- ・ 2016年以降、同地域の都市開発・交通インフラ開発計画にCTIグループとして継続的に参画
- ・ マスタープラン策定から事業化検討まで一貫して支援
- ・ CTIグループの総合力を活かした海外インフラ事業の推進

#### CTIIの担当

- ✓ 円借款案件の融資判断に必要となる技術面・事業面の評価を担当
- ✓ 交通需要予測、道路・橋梁計画、経済分析、環境社会配慮を含む総合的なF/S業務を実施
- ✓ 都市部特有の用地制約、既存インフラとの整合等の複雑な条件を踏まえ、実現性の高い道路整備計画を立案



※3Dイメージ図

※関係者との協議を継続しながら調査を実施中 17

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

西村：

海外建設コンサルティング事業のトピックスをご紹介します。

建設技研インターナショナルによるマダガスカル首都圏の交通インフラ整備支援についてです。

首都アンタナナリボの交通渋滞緩和を目的とする中環状道路整備計画で、

JICA による円借款供与の検討に向けたフィージビリティ調査を実施しています。

CTI グループは 2016 年以降、同地域の都市開発・交通インフラ開発計画に継続的に参画し、マスタープラン策定から事業化検討まで一貫して支援しています。

本案件は、関係者との協議を継続しながら調査を実施中の段階です。

**Waterman Moylan(アイルランド)が手掛けた大型再開発案件でACEI賞を受賞**

Waterman Moylanは、ダブリン中心部の大規模複合開発において土木・構造設計を担当し、高度な構造技術により都市再開発を実現したことが評価され、ACEI Awards2026「Innovation - Large Project」を受賞

**プロジェクト概要**

- ・ アイルランド・ダブリン中心部の大型複合開発
- ・ 商業施設、住宅、地下施設を一体整備
- ・ 22階建て・高さ82mの住宅タワーを建設
- ・ ダブリンの新たなランドマークとなる都市再生プロジェクト

**Waterman Moylanの役割**

- ✓ 土木・構造エンジニアリング業務を担当
- ✓ コンセプト設計から施工、引渡しまで一貫して参画
- ✓ 都市中心部の厳しい立地条件下で、地下構造・高層構造の設計を実施

**特長・評価されたポイント**

- ・ 都市インフラが集中する難条件下で開発を実現
- ・ オフィスと住宅タワーを組み合わせた複雑な構造を設計
- ・ 独創的な構造技術により発注者の構想を具現化



カレッジ・スクエアの航空写真

写真提供：Marlet Property Group

18

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

西村：

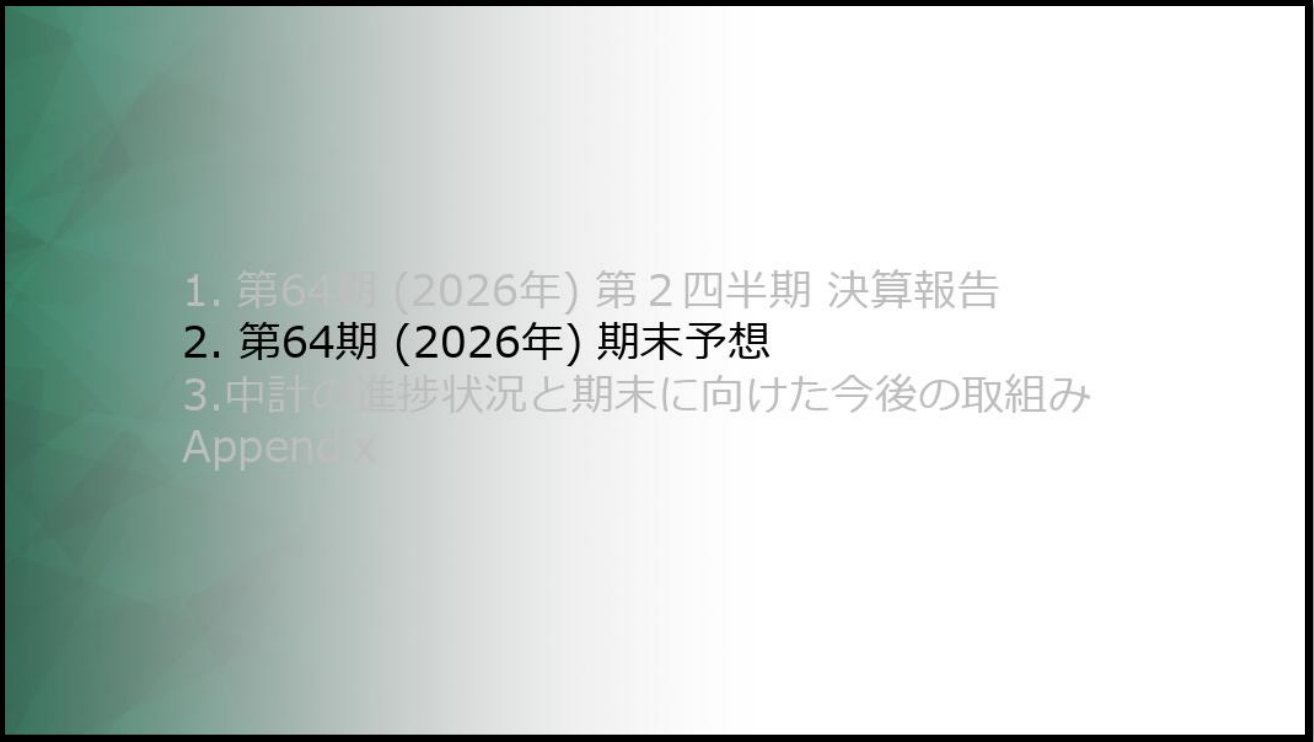
こちらは、アイルランドにあります Waterman グループである Waterman Moylan が手掛けたダブリン中心部の大型複合開発案件となります。

本案件は、商業施設、住宅、地下施設を一体整備する都市再生プロジェクトで、

Waterman Moylan は土木・構造エンジニアリングを担当し、コンセプト設計から施工、引渡しまで一貫して参画しました。

都市中心部の厳しい条件下で高度な構造技術を活用した点が評価され、

アイルランドコンサルティングエンジニア協会（Association of Consulting Engineers of Ireland）が主催する、優れたエンジニアリングや建設プロジェクトを称える年次表彰式 ACEI Awards 2026 の「Innovation - Large Project」を受賞しました。

- 
1. 第64期 (2026年) 第2四半期 決算報告
  2. 第64期 (2026年) 期末予想
  3. 中計の進捗状況と期末に向けた今後の取組み
- Appendix

西村：

続いて、第64期、2026年の期末予想についてご説明いたします。

## 第64期（2026年）経営計画



- 中期経営計画2027達成に向けた中間年の目標として、個別・連結ともに増収・増益の計画

（単位：百万円）

| 項 目 |                     | 第63期<br>(2025年) 実績 | 第64期<br>(2026年) 計画 | 対前期<br>増減率 | 中計2027    |
|-----|---------------------|--------------------|--------------------|------------|-----------|
| 連 結 | 受注高                 | 109,701            | <b>105,000</b>     | ▲4.3%      | -         |
|     | 売上高                 | 101,038            | <b>105,000</b>     | +3.9%      | 110,000   |
|     | 営業利益                | 9,136              | <b>10,500</b>      | +14.9%     | 12,000    |
|     | 営業利益率               | 9.0%               | <b>10.0%</b>       | +1.0pt     | 11%       |
|     | 経常利益                | 9,350              | <b>10,500</b>      | +12.3%     | -         |
|     | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 5,952              | <b>7,000</b>       | +17.6%     | -         |
|     | 1株あたり当期純利益          | 214.45円            | <b>257.41円</b>     | -          | -         |
|     | 配当（配当性向）            | 75円(35.0%)         | <b>110円(42.7%)</b> | -          | - (30%以上) |
|     |                     |                    |                    |            |           |
| 個 別 | 受注高                 | 62,760             | <b>62,000</b>      | ▲1.2%      | -         |
|     | 売上高                 | 60,969             | <b>62,000</b>      | +1.7%      | -         |
|     | 経常利益                | 8,947              | <b>9,600</b>       | +7.3%      | -         |
|     | 当期純利益               | 5,908              | <b>6,700</b>       | +13.4%     | -         |

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

20

西村：

2026年の経営計画です。連結・個別ともに増収増益の計画に変更はありません。

のちほどご説明いたしますが、配当金を、期首78円としていましたが110円に修正しています。

## 株主還元：期末配当予想の修正(2026年7月30日公表)



### 配当予想の 修正理由

当社は、中期経営計画2027において配当性向30%以上を目安とした株主への利益還元を基本方針としている。現在までの当期の業績動向と財務状況等を総合的に勘案した結果、株主への利益還元の一層の充実を図るため、期末配当予想の修正を決議

2026年2月13日  
公表

78円

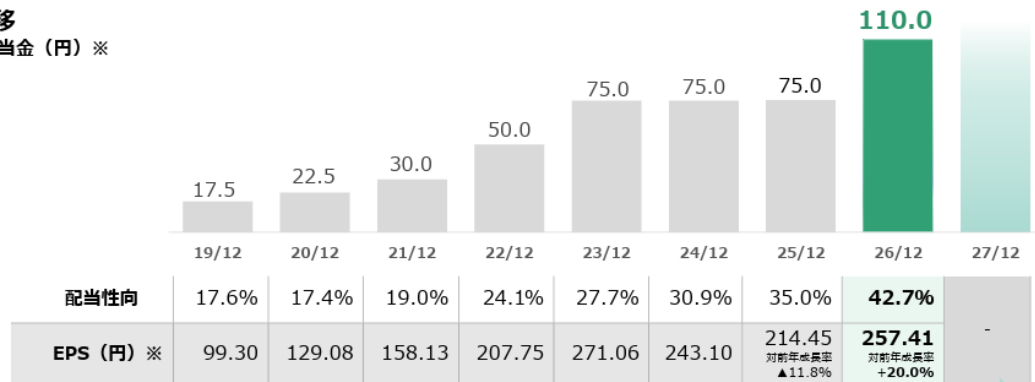


2026年7月30日  
公表

110円

### 配当金の推移

1株あたり配当金(円)※



※2025年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。  
各年期首に株式分割が行われたと仮定して、1株あたり配当金・EPSを算定。

CAGR24-27年  
平均成長率10%以上

Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

21

西村：

期末配当予想については、7月30日に公表しましたとおり、一株当たりの配当を110円に修正いたしました。

修正の理由ですが、当社は、中期経営計画2027において配当性向30%以上を目安とした株主への利益還元を基本方針としています。

現在までの当期の業績動向と財務状況等を総合的に勘案した結果、株主への利益還元の一層の充実を図るため、期末配当予想の修正を決議いたしました。

修正の結果、期末配当性向は42.7%、一株当たり純利益EPSは257.41円、EPSの対前年成長率は20%となる予想です。

## 株主還元：自己株式の取得(2026年7月30日公表)



### 自己株式の取得を行う理由

今回の自己株式の取得は、資本コストや株価を意識した経営を推進し、資本効率の向上を図るとともに、中期経営計画2027で掲げる方針「成長投資の進捗を踏まえた株主還元の実施」に基づき、株主還元の充実を目的に実施

### 実施内容

| 年度        | 取得期間                      | 取得上限株式数<br>(千株) | 取得上限金額<br>(億円) | 取得方法 |
|-----------|---------------------------|-----------------|----------------|------|
| 2026~2027 | 2026年8月14日～<br>2027年4月30日 | 1,200           | 30             | 市場買付 |

- 取得予定の自己株式は、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により消却する予定

### (参考) 過去の実績

| 年度        | 取得期間                       | 取得株式数<br>(千株) | 取得金額<br>(億円) | 取得方法 |
|-----------|----------------------------|---------------|--------------|------|
| 2023      | 2023年3月1日～<br>2023年3月24日   | 597※          | 10           | 市場買付 |
| 2025~2026 | 2025年11月13日～<br>2026年4月30日 | 485           | 15           | 市場買付 |

※2025年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。  
2023年の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、取得株式数を算定。

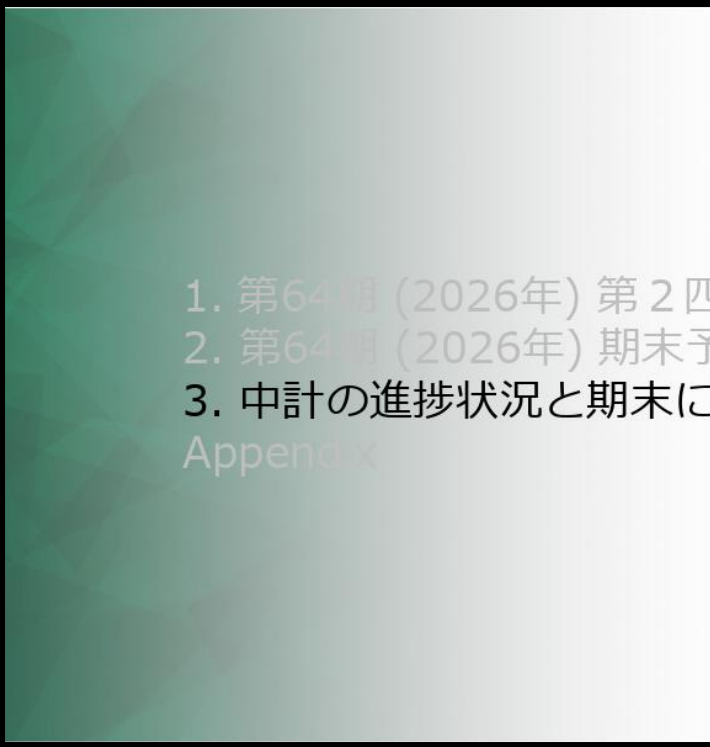
西村：

続いて、同日に公表した自己株式の取得についてご説明いたします。

今回の自己株式の取得は、資本コストや株価を意識した経営を推進し、資本効率の向上を図るとともに、中期経営計画 2027 で掲げる方針である「成長投資の進捗を踏まえた株主還元の実施」に基づき、株主還元の充実を目的として実施します。

取得期間は 2026 年 8 月 14 日から 2027 年 4 月 30 日まで、

取得上限金額は 30 億円、上限株式数は 120 万株です。

- 
1. 第64期 (2026年) 第2四半期 決算報告
  2. 第64期 (2026年) 期末予想
  3. 中計の進捗状況と期末に向けた今後の取組み
- Appendix

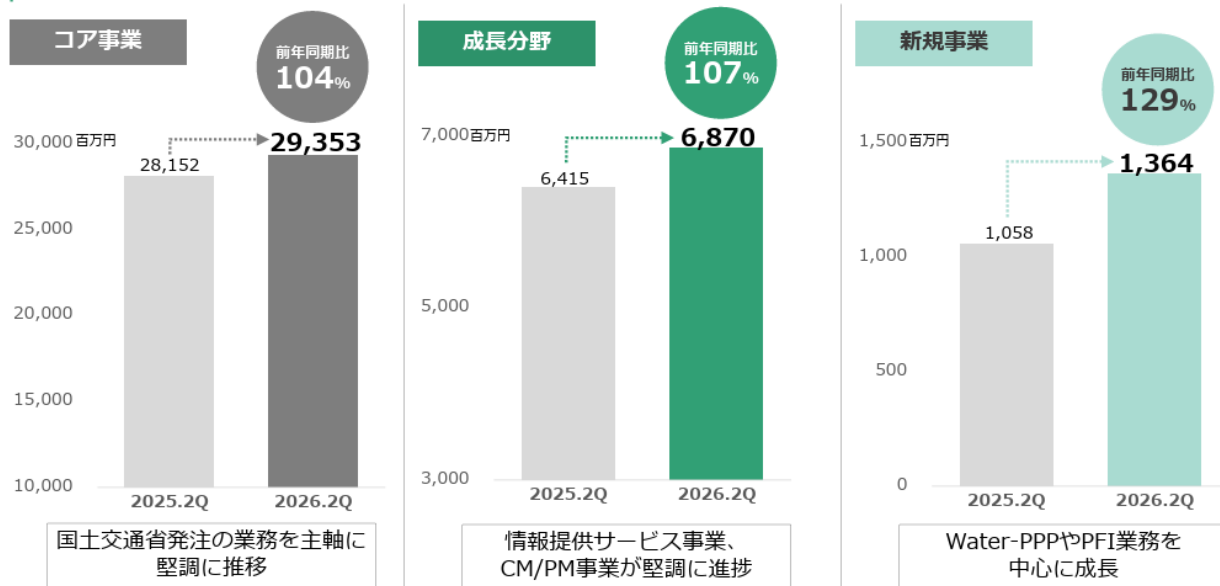
西村：

最後に、中期経営計画 2027 の進捗状況と、期末に向けた今後の取組みについてご説明します。

## 中期経営計画2027の進捗状況：事業ポートフォリオの変革



### ポートフォリオ別売上高



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

※売上高計上処理の関係で、国内建設コンサルティング事業売上高と合計値が異なる場合があります。24

西村：

事業ポートフォリオの変革についてです。

コア事業、成長分野、新規事業のいずれも、前年同期比で売上高が上昇しております。

コア事業は、国土交通省発注の業務を主軸として堅調に推移し、売上高は前年同期比 104%の 293 億円となりました。

成長分野は、情報提供サービス事業や、CM/PM 事業が堅調に進捗し、売上高は前年同期比 107%の 68 億円となりました。

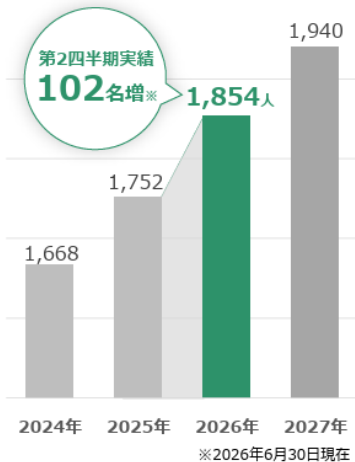
新規事業は、Water-PPP や PFI 業務が成長し、前年同期比 129%の 13 億円となりました。

## 中期経営計画2027の進捗状況：成長基盤の再構築



### 人的資本への投資強化

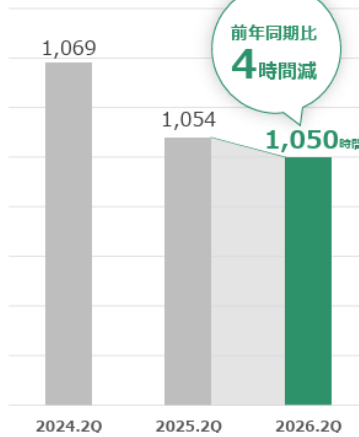
#### ● 技術者数（単体）



計画見通しどおり、  
順調に増加

### DX/生産システム改革

#### ● 労働時間



DX/生産システム改革促進中  
労働時間は減少、HC-ROIも向上  
業務表彰件数は増加

#### ● HC-ROI



#### ● 国土交通省業務表彰数



#### ● 重大な事故・ミス



Copyright © 2026 CTI Engineering Co., Ltd. All Rights Reserved.

25

西村；

続いて、成長基盤の再構築です。

人的資本の投資強化については、

技術者数の増加状況は、単体では第2四半期時点で1,854人となりました。

今期第2四半期では102名増員し、2027年の1,940人目標に向かって順調に増加しております。

DX/生産システム改革の指標としている労働時間は、

わずかではありますが、昨年よりも減少しております。

人的資本投下に対する生産性を示すHC-ROIは、前年同期比で4.3%向上し、少しずつ業務効率化が進捗しております。

国土交通省からの業務表彰数は、昨年から増加し、79件となりました。

重大事故・ミスは、昨年残念ながら2件発生しましたが、今年は第2四半期時点で0件です。

## 国内建設コンサルティング事業

- 事業ポートフォリオ変革をさらに加速し、成長分野における受注拡大と市場地位の確立を推進
- AIの利活用やミスリスクアセスメントによる品質確保と重大ミスの防止
- 非生産作業の削減等による販管費率の低減

## 海外建設コンサルティング事業

- 確実な受注確保に伴う稼働率アップによる収益性向上と販管費率の低減
- CTIIは、営業案件の確実な受注と業務提携会社との連携強化による受注拡大
- Watermanは、英国コンサルティング事業の構造改革及び公共事業動向に応じた技術者派遣事業の拡大を推進

## 人的資本投資、DX/生産システム改革

- フレックスタイム制導入など柔軟な働き方の制度拡充によるエンゲージメント向上
- 研修等による専門基礎技術力や提案力を兼ね備えた人材の育成
- AI基盤ツールの業務工程、業務管理への組込による生産性向上と品質向上の実現

西村：

それでは最後に、期末に向けた今後の取組みについてご説明いたします。

国内建設コンサルティング事業では、事業ポートフォリオ変革をさらに加速し、成長分野の受注拡大と市場地位の確立を進めます。

あわせて、AIの利活用やミスリスクアセスメントによる品質確保と重大ミスの防止に取り組むとともに非生産作業の削減による販管費率の低減を図ります。

海外建設コンサルティング事業では、確実な受注確保による稼働率向上とそれによる収益性向上・販管費率の低減を進めます。

さらに建設技研インターナショナルは、営業案件の確実な受注と提携会社との連携強化による受注拡大、また Waterman は、英国コンサルティング事業の構造改革と公共事業動向に応じた技術者派遣事業の拡大を推進します。

人的資本投資と DX・生産システム改革では、フレックスタイム制導入など、柔軟な働き方のできる制度の拡充によるエンゲージメント向上、研修等を通じた人材育成、さらには AI 基盤ツールの業務工程・業務管理への組込みを進め、生産性と品質の向上を図ってまいります。

## 経営理念

世界に誇れる技術と英知で

安全で潤いのある

豊かな社会づくりに挑戦する



株式会社建設技術研究所は、建設コンサルタントのパイオニアとして、これまで社会の課題に真摯に向き合い、技術力を研鑽してインフラ整備に関するさまざまな課題解決に取り組んできました。

技術革新が急速に進む中、新たな技術に挑戦し、最高のインフラサービスを提供し続けるプロフェッショナル集団として、安全で安心して暮らすことができる社会を未来に向けて創造し続けます。

西村：

以上で説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。